



## ネイチャーぼうけん&防災キャンプ(関西エリア)2022年度実施報告

### ◆実施概要

キャンプテーマ	うみのぼうけん
日程	2022年8月27日(土)~28日(日)
会場	大阪府立青少年海洋センター 〒599-0301 大阪府泉南郡岬町淡輪6190
参加者合計	76名
(内訳)こども	59名(内被災経験世帯 3名)
スタッフ	4名
ボランティア	11名(中国・タイ・ベトナム・インド・エジプト・スリランカ・インドネシア・チュニジア・スーダン)
バス運転手	2名

### ◆プログラム詳細

#### ヨット①(組み立て)



施設の方に教わりながら、一からヨットを組み立てます。10人がかりで力を合わせて船体を運び出し、帆を差してロープで固定。ところどころ複雑な工程があっても、ボランティアスタッフに聞きながら「自分でやってみたい!」という積極的な姿がみられました。ヨットには交代で2名ずつ乗船。前の人が帆を操作して前進、後ろの人が舵を操作して進行方向をコントロールするという役割分担になっています。沖のブイを目指していざ出発!

#### ヨット②(操縦)



目印のブイまで進んだら、折り返して陸へ戻ります。各チームとも折り返すときの旋回にかなり苦戦している様子でした。この日はとても風が穏やかだったので、風のみで進めない時には、自分たちでパドルを漕いでなんとか前進。最終的にはすべてのチームがゴールできました。

### かぜの王さま



参加者に持参してもらった棒に布をくりつけ、風の向きや強さを目で見て判断できる道具を作ります。それを使って「風が一番強いところ」を探しにチームで出発。ここだ！という場所を見つけたら、ボランティアスタッフを呼び、風速計で計測してもらいます。思ったより風速が弱かったときには落胆が聞こえることも。日頃、何気なく感じている風を「速度」という視点でとらえるのは新鮮だったようです。

### 国際交流



ボランティアスタッフが、それぞれの出身国について子どもたちに紹介します。中国のあいさつ、ベトナムの気候、スーダンの小さなピラミッドがある景色、チュニジアの女性用と男性用の帽子について等々。子どもたちは、日本とのさまざまな違いに驚きながら一生懸命にメモをとって、熱心に学んでいました。

